

施策評価シート

1. 基本情報			対象年度（28年度）						
施策コード	331		施策名	青少年の健全育成					
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち（「人づくり」の分野）							
まちづくりの基本目標	33	青少年や若者が希望や夢を持つことができるまち							
主担当部	子ども家庭部		主担当課	児童センター		係	児童青少年		
担当者	矢ヶ崎 直美		役職	子ども家庭部長		内線	240		
関係課	企画課	子ども家庭支援センター	教育総務課	指導課	生涯学習スポーツ課	地域包括ケア推進課			

2. 施策の方向		
10年後の姿	次代を担う青少年が自己実現をしながら幸せで自立した社会生活を送っています。大人は子どもの人権を大切にし、乳幼児期から青年期までのライフステージを見守り、育ちを支えています。	
施策の方向性	1	青少年の人間性・社会性を育みます
	2	悩みや問題を抱える青少年に寄り添った支援をします
	3	地域を上げて青少年を育成する体制を整えます
	4	青少年の居場所を充実します

3. 構成事業の状況			(単位:千円)				
No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
0102010801	計画行財政推進事業	対象	4	企画課	855	7,984	5,429
0110010206	奨学資金貸付事業		3	教育総務課	1,524	2,220	2,040
0110010302	教育相談センター運営管理事業	対象	1、2	指導課	11,972	8,318	8,329
0103020107	新次世代育成支援行動計画策定事業		すべて	児童センター	—	3,027	
0103020501	青少年問題協議会事業		3	児童センター	1,966	1,905	2,086
0103020503	青少年委員活動事業		3	児童センター	998	1,136	1,146
0103020504	放課後子ども教室推進事業	対象	3、4	児童センター	26,325	25,981	27,562
0103020804	児童センター事業	対象	すべて	児童センター	6,954	5,110	7,750
0110050105	成人式開催事業		1、3	生涯学習スポーツ課	81	106	117
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		1	生涯学習スポーツ課	1,577	1,739	1,761
0110060105	学校体育施設等開放事業		1	生涯学習スポーツ課	40	137	58
0110060201	体育施設管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	280,311	146,863	183,557
0103010136	地域福祉計画策定事業		すべて	地域包括ケア推進課	—	994	4,165
0103020902	子ども家庭支援センター事業	対象	すべて	子ども家庭支援センター	48,929	49,394	51,362
総事業費(施策の合計)					381,532	254,914	295,362

4. まちづくり指標										
指標情報						平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成31年度	平成37年度
①	名称	中高生の居場所への参加者数			目標値	—	延べ10600	13000	延べ14300	延べ14000
	説明		単位	人	実績値	延べ8806	延べ12524			
	抽出方法				達成率	—	118.2%			
②	名称	スポーツ活動への参加者数(児童センター・生涯学習センター)			目標値	—	延べ1280	1350	延べ1600	延べ2000
	説明		単位	人	実績値	延べ1200	延べ1357			
	抽出方法				達成率	—	106.0%			
③	名称	青少年問題協議会地区委員会活動への参加者数			目標値	—	延べ6430	6450	延べ6500	延べ6650
	説明		単位	人	実績値	延べ6400	延べ6400			
	抽出方法				達成率	—	99.5%			

5. 評価(平成28年度実績に対する)

評価基準		評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業 の状況」「4. まち づくり指標」)に対 する評価	総合評価 (成果、投入財源等を 総合的に評価)	B	少子化問題の進展に対応するために、次世代を担う子どもを育成する家庭を地域社会全体で支援することを 目的とした「きよせ次世代育成支援行動計画」について「東京都子供・子育て支援総合計画」や「第4次清瀬市 長期総合計画」の内容と整合を図りながら改訂し、「清瀬市新次世代育成支援行動計画」を策定し、子どもの 成長段階に応じた支援の充実や配慮が必要な子どもや家庭への支援の充実に向けた方向性を示すことがで きた。 また、青少年を対象にした各種スポーツの記録会、大会において参加者の増減はあるものの数字に大きな 隔たりはなく、学年が変わっても参加者の認知度は高い等、スポーツ活動を通し達成感や協調性を学ぶこと により自己肯定感が高まり、清瀬市の青少年健全育成が図られた。

※A 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が十分
B 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」に一部課題がある
C 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が不十分

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズ の状況	少子化の進展に加えて、人間関係の稀薄化が顕著 になっており、青少年育成への関心や期待が高まって いる。	3.施策の必要性を高める	地域で青少年育成に取り組むことがますます求められる。
他自治体 との比較	近隣市に比べて整備されたサッカー場がある。	1.施策遂行に役立つ・有利	いろいろな市民団体からサッカー場の利用について希望があ り、当該施設を生かした施策展開に役立つため。
民間企業・NPO ・市民の動向	2020年オリンピックパラリンピック東京大会を契機 に、NPO法人や企業のスポーツビジネスへの参入や スポンサーなど露出度が高くなっており、市民に影響 を与えてきている。	1.施策遂行に役立つ・有利	青少年への啓発、活動への情報提供などNPO等の活動は施 策推進に寄与する。
法・制度改正 の動向	子ども・子育て支援新制度において、平成31年度ま でに、放課後子ども教室の拡充(全国で約30万人の受 け皿)や学童クラブと一体型の連携事業の実施が謳わ れた。	3.施策の必要性を高める	放課後子ども教室推進事業の更なる推進が求められる。

7. 今後の施策課題

No.	今後の施策課題(平成30年度に向けて)	左記課題に関する現在の取組状況
①	地域の大人たちが地域の子どもをみていくことは重要であり、思春期の世代も含めた 子どもたちにとって大変効果的であるが、近年は地域の自治会・互助会・共同体が失わ れつつある状況で、「地域ぐるみ」の組織の創出及び再生が課題である。	市では地域の課題を話し合い、解決するための新しいコミュニティ として「コミュニティはぐみ円卓会議」を提案し現在 芝山小、四小、 三小、六小、七小で実施している。
②	全国で子どもたちが巻き込まれる不幸な事件・事故が多発しており、安全な居場所の 提供が求められている。	放課後子ども教室(まなべー)は全小学校で月曜から金曜まで給 食のある放課後に実施しており、学童クラブを卒所した高学年児童 の居場所にもなっている。また中高生の居場所として児童センター、 下宿児童館、野塩児童館において「中高生タイム」を継続実施してい る。
③	養育困難家庭の増加により、自己肯定感を持ちづらい環境が見受けられ、そうした家 庭への支援が求められる。	子ども家庭支援センターは家庭からの相談窓口、児童センター は問題を抱える子ども自身への相談窓口や居場所となっている。